

分野	科目名		配当年次	開講期
専門分野	小児看護学方法論 I		2 年次	後期
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1 単位 (30 時間)	20 時間	外山 忍	有	
	4 時間	滝川市立病院 医師	有	
	2 時間	滝川市立病院 医師	有	
	4 時間	滝川市立病院 医師	有	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・健康障害や健康問題をもつ子どもと家族を理解し、患児の経過に応じた援助、検査・処置に伴う援助、ストレスの緩和に対する援助、親やきょうだいへの援助等について学ぶ。 ・小児特有な疾患について学ぶ。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康障害の特徴を理解する。 2. 健康障害が子どもとその家族に与える影響を考えることができる。 3. 小児各期の特徴と健康障害が子どもとその家族に与える影響を考えることができる。 4. 小児の看護技術の必要性和特徴を学ぶ。 5. 子どもに見られる主な疾患の病態・治療について理解する 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	子どもが病気になることで家族に及ぼす影響	講義・DVD	子どもの健康障害 (外山)
	2	病気や入院が子どもに与える影響	講義	〃
	3	子どもの病気の理解、小児病棟のイメージ	講義	〃
	4	小児科外来の特徴、経過別看護	講義	〃
	5	小児の事故防止、事例検討	講義・GW	〃
	6	隔離の必要な子や活動制限のある子どもへの看護	講義	〃
	7	検査・処置を受ける子どもへの看護	講義・DVD	〃
	8	小児看護技術の特徴、事例患児の演習	講義・演習	〃
	9	小児呼吸器疾患	講義	疾患の理解 (外山)
	10	小児の感染性疾患	講義	〃 (外山)
	11	小児の血液・腫瘍性疾患、循環器疾患	講義	医師
	12	小児のアレルギー、免疫、リウマチ疾患	講義	医師
	13	小児の腎・泌尿器疾患	講義	医師
	14	小児の神経疾患	講義	医師
15	小児の消化器疾患	講義	医師	
評価	筆記試験 「子どもの健康障害」 100 点 「疾患の理解」 100 点の平均を履修の評価とする。			
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 筒井真優美：これからの小児看護 南江堂 1998 2) 筒井真優美：小児看護 子どもと家族の示す行動への判断とケア 日総研 2003 3) 筒井真優美：小児看護における技 南江堂 2003 			
備考				